

2015年 4月 24日

お客様各位

東京計器株式会社
船用機器システムカンパニー
品質保証部

うるう秒調整に伴う弊社製 船舶自動識別装置(AIS)への影響のご案内

平素は弊社製品をお使いいただき誠にありがとうございます。

2015年7月1日に「うるう秒」の調整が行われます。弊社が以前販売しておりました一部の船舶自動識別装置(AIS)への影響について再度お知らせいたします。

－ 記 －

(1) 対象機種

- ・船舶自動識別装置 TRA-1000 全て
- ・船舶自動識別装置 TRA-2000 初期モデル(2007年2月以前の出荷品の一部)

(2) うるう秒調整実施による影響

船舶自動識別装置(AIS)は、内蔵GPS受信機のUTC時刻を使用して現在時刻を認識します。弊社のTRA-1000およびTRA-2000初期モデルに内蔵のGPS受信機は、今回のうるう秒調整実施前の数ヶ月間、GPS衛星から放送される「うるう秒実施予告情報」を受信しますと、1秒遅れた時刻を認識しますが、機器の実運用上影響はございませんので、現状のままご使用いただけます。

なお、2015年7月1日には、この「うるう秒実施予告情報」の放送が終了し、両モデルとも正しい時刻を自動的に認識します。

今後も、うるう秒調整実施が行われると予想されますが、その場合も同様な現象となりますことを合わせてお知らせいたします。

(3) 参考

「うるう秒」調整のお知らせ(独立行政法人 情報通信研究機構)のプレスリリース
<http://www.nict.go.jp/press/2015/01/16-1.html>

以上